



■ Topics

第44回総合的交通基盤整備連絡会議を開催

テーマ デジタル技術を活用した 地域交通の確保の取り組み

2023/10/24(火)

13:00~15:00

ハイブリッド開催

(中央合同庁舎3号館・Web)

今年度の総合的交通基盤整備連絡会議を、10月24日(火)に開催しました。テーマは、「デジタル技術を活用した地域交通の確保の取り組み」です。

北海道から沖縄まで、全国の自治体から、約360名の参加がありました。当日の講演や、パネルディスカッションの要旨等を報告いたします。



講演

講演1 福島大学/前橋工科大学 吉田 樹 准教授 「地域交通のり・デザイン — デジタル技術をどう受け止めるか」

- 地域交通の再設計が必要であり、各地域の独自の課題に合わせたアプローチをすることが重要。
- デジタル技術の進展で、デマンド交通などパーソナライズされたサービスは拡大の可能性はあるが、目的を定め、見失わないよう注意する必要がある。
- デジタル技術の活用においては、ベンダーを先に決めるのではなく、何をやりたいかを決めておく必要がある。

講演の動画 <https://youtu.be/zK7fLB9Y35k>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/141-1sougoukoutsu.pdf>

動画



吉田 樹(よしだ いつき)

首都大学東京助教等を経て、2013年4月に福島大学経済経営学類へ着任。2023年4月からクロスアポイントメントで前橋工科大学にも所属。専門は地域交通政策。各地の公共交通政策に携わり「現場での実践」に基づく理論構築に努める。

資料



講演2 福島大学 村上 早紀子 准教授 「地域公共交通を育てる地方都市での戦略」

- デジタル技術を活用した取組には、手段と目的が逆転した事例が多い印象。手段は何であれ、地域公共交通を育て、利用者が安心してお出かけできることが目的であるべき。
- 自身の取組も踏まえると、「デジタル」と「アナログ」を併用する中で、利用者の「利用しやすさ」を確保しつつ、サービス供給側の負担軽減をどう図るかが課題。
- 住民の要望に沿っただけの戦略でなく、地域公共交通を育て、かつ地域を育てるものとするために、覚悟を込めた強固な戦略が重要。

講演の動画 <https://youtu.be/36J4lbojnnE>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/141-2sougoukoutsu.pdf>

動画



村上 早紀子(むらかみ さきこ)

2017年3月弘前大学大学院地域社会研究科博士後課程修了、2019年4月より現職。専門は地域経営、都市・地域計画。地域公共交通東北仕事人ほか。博士(学術)。

資料



講演 3 長野県上田市 都市建設部交通政策課 市川 章弘 氏 「公共交通におけるキャッシュレス化推進の取組について」

- 全国で初めて、鉄道、路線バス、タクシーなど変動制運賃の公共交通に、QRコード決済システムを導入。
- 行政や地元企業など、官民14団体がプロジェクトに参加し、対応事業者の拡大や、商工部門との連携等を図る。
- デジタル化への金銭的な課題に対して、初期投資や更新費用を抑え、身の丈に合う取組を実現できると考えている。

講演の動画 <https://youtu.be/pP9L07RfKH4>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/141-3sougoukoutsu.pdf>

動画



市川 章弘(いちかわ あきひろ)
長野県長野市出身。大学卒業後、1997年4月上田市役所入庁。
森林整備、行政改革、議会等の業務を経験し、2020年4月から公共交通を担当。

資料



講演 4 岡山県久米南町 総務企画課 大家 健吾 氏 「AI 予約配車システムを活用したフルデマンド交通の事例紹介」

- 町内を運行するデマンド交通に、AIを活用した予約・配車システムを導入し、時刻の定めなく、町内のどこにでも移動できるよう再編。ネット予約や直前予約にも対応。
- 特定時間帯の利用集中の緩和、運行の効率化により運行台数を減らすことができ、運行日・時間帯の拡大などサービス向上を実現。利用者数も順調に増加。
- 持続可能な移動手段を構築するためには、課題を正しく把握して解決策を検討し、利便性、経済性、継続性を確保することが重要。

講演の動画 <https://youtu.be/8T2EA2NSdos>

講演の資料 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/141-4sougoukoutsu.pdf>

動画



大家 健吾(おおや けんご)
岡山県久米南町出身。大学卒業後、民間企業に勤務。
2004年4月久米南町役場入庁。
2022年4月から公共交通を担当。

資料



パネルディスカッション

パネルディスカッションの動画

<https://youtu.be/CFT5H8y5N6o>



Q:久米南町のデマンド交通「カッピーのりあい号」について、AI予約配車システムの導入で一番変わった点は何か？

岡山県久米南町 大家氏

A:乗りたい時に、行きたい場所に行けるようになったことが一番大きい。通院目的の利用者が多く、以前は特定の便に利用が集中していたが、運行ダイヤとゾーンを撤廃したことで、いつでも予約・乗車でき、利用を平準化できたと思う。



Q:上田市の講演で、QRコード決済の利用率の低さが課題として挙げられていたが、例えば現金利用を値上げするなど、利用促進のための策が考えられるのではないか？

長野県上田市 市川氏

A:現在は、現金とQRコード決済が併存し、業務の効率化に至っていない。QRコード決済の利用率が40~50%位にならないとメリットを感じられないため、現金との差額を設けるなども検討しつつ、利用率を上げていきたいと思う。

Q:講演者から参加者に一言

福島大学 村上准教授

A:地域の規模や事情、目指す都市や交通の姿により、立てる戦略は異なる。自分たちの地域に合った戦略のもと、適材適所で行うことが大事である。また、地域の関係者と議論を重ね、取組を検討し、導入を進めていく必要がある。

長野県上田市 市川氏

A:上田市の取り組みを紹介させていただいたが、皆様の地域に合うか否かは、実際のニーズ等を踏まえる必要がある。そのため、検討材料の一つとしていただきたい。

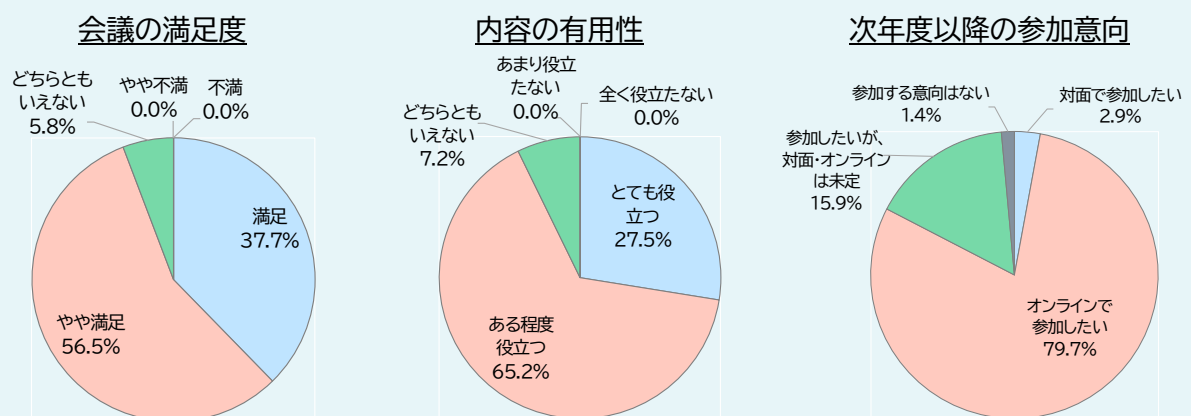
岡山県久米南町 大家氏

A:久米南町は、民間の交通事業者が鉄道(JR)のみという特殊な事情もあるため、参考として見ていただきたい。よく考えて導入しても上手く行かないことがあると思うが、その時にどう立て直すか、どう方向転換するかも大事である。

総評(福島大学/前橋工科大学 吉田准教授)

- 村上准教授より紹介のあった大館版 mobi プロジェクトは、若い世代にも使われており、若者のお出かけをしやすい点では面白い取組。ただ、市の取組の中での位置づけが課題と感じた。
- 上田市の事例は、交通課題を地域のベンダーと解決した、意欲的な取組。MaaS や新しいモビリティサービスでは、アイデアや要素技術を持つ地域のプレイヤーが、地域にマッチしたものを提案してることがある。地域経済に良い循環を生み出すには、地域のプレイヤーとの連携も鍵。
- 久米南町の事例は、タクシー事業者がない町として、愚直に取り組んできた事例。取組が上手くいかない時は、データをチェックしつつチューニングしていくことが鍵。地域の課題を解決するためには、行政の担当者が、自身の言葉で取組を語ることが重要。

アンケート結果



(n=69)

今後連絡会議で取り上げてほしいテーマ・内容(抜粋)

- ・過疎地域での公共交通政策
- ・輸送資源の総動員の考え方
- ・将来の公共交通ビジョンの考え方
- ・地域にあった交通モードの考え方
- ・運行データの効果的な活用方法
- ・運転手不足への対応
- ・交通政策担当者の人材育成
- ・他分野と連携したコミバスの取組
- ・共創による移動手段
- ・まちづくり施策との連携

■総合交通体系グループだより

▶環境にやさしい交通を目指す取組みを表彰します！ 第14回 EST 交通環境大賞の募集

2024/1/11(木)
まで募集中

EST 交通環境大賞は、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図ることを目的として、EST 普及推進委員会によって2009年度に創設された表彰制度で、今回で14回目となります。

2020年には、わが国が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことが宣言されるなど、近年、ますます環境対策の推進が求められています。環境にやさしい交通を目指す取組みをされている団体等のご応募をお待ち致します。本大賞の募集締め切りは、2024年1月11日までです。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2023.html>

【主催】EST 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

【募集内容】地域の優れた交通環境対策の取組み

【応募期間】2023年10月6日(金)～2024年1月11日(木)

【応募資格】(自薦)自治体、企業、大学、またはNPO等※の団体

※自治会等の任意団体も応募可能

(他薦)地域の交通環境対策に関する有識者

本表彰制度では、複数の団体による応募や協議会での応募を奨励

【応募方法】EST ポータルサイトから応募申請書と応募様式をダウンロードし、必要事項を記入してEST 普及推進委員会事務局に提出。

【賞の種類】

【大賞】最も優れている地域の交通環境対策の取組みを表彰(国土交通大臣賞、環境大臣賞)

【優秀賞】大賞に準じて優れていると評価される取組みを表彰

【奨励賞】地域に根ざし日々努力を重ねている団体や、個別取組みの顕著な成果に対する表彰

【審査】EST 普及推進委員会にて実施。主な審査基準は下記4点。

- 基礎的な事項(実績、新規性・独創性、適時性・話題性、普及可能性、経済性)
- 環境改善効果(対策の将来性、環境改善量、実施期間)
- 地域の持続可能性(環境面の評価、経済面の評価、社会面の評価)
- 各主体との適切な連携(自治体、交通事業者、地域住民、その他関連する団体等)

詳しい内容・最新の情報はEST ポータルサイト(<https://www.estfukyu.jp/>)をご覧ください。

【参考情報】環境的に持続可能な交通(EST)について、EST 普及推進委員長(加藤博和 名古屋大学大学院教授)による解説動画を公開しています。詳しくは以下URLよりご覧ください。

●第41回 EST 創発セミナー in 小豆島[四国] 講演2

<https://www.youtube.com/watch?v=ce5NETRH91U&t=0s>



前回大賞(国土交通大臣賞):
T-PLAN 株式会社、
一般社団法人姫島エコツーリズム
「離島の課題に再エネと小型EVを
活用した取組み」

【お問い合わせ先】環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団(担当:中道)

E-mail:[EST\(at\)estfukyu.jp](mailto:EST(at)estfukyu.jp)(※(at)を@に変えてお送りください。) TEL:03-5844-6268

Information

▶ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、下記までご連絡ください。

▶ 地域の取り組み・イベント案内 募集中！

当課では、**総合的な交通施策の取組**について情報提供頂ける自治体等を募集しています。**地域の交通拠点の形成・再編による地域交通の維持・活性化の取組**などを本メールマガジンで紹介し、ノウハウ等の情報共有ができればと考えております。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にお寄せ下さい。

また、**イベントや勉強会・講演会・セミナー**などにつきましても、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方からでも、耳よりの情報でも構いません。是非お寄せください。

【ご意見・情報提供】 [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、**交通基盤整備や地域交通に関する最新の取組み**を幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンです。主な配信先は都道府県、市町村等の交通施策担当者です。当メールマガジンで紹介する記事は、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。配信申込は以下からお願いいたします。

【配信申込】 以下を添えて、メールでお申し込みください。
(団体の場合)所属、氏名、電話番号、メールアドレス
(個人の場合)所属(職業)、氏名、電話番号、メールアドレス

【申込先】 国土交通省総合政策局総務課(総合交通担当) メールマガジン担当宛

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

TEL: 03-5253-8111(内線 53-113)

【バックナンバー】

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



また、当メールマガジン以外にも、**公共交通政策全般**について、国民の皆様に関心を持って頂くためのメールマガジンを配信しております。ご興味のある方は、以下より配信のご登録をお願いします。

【配信登録】

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html



※配信先の変更について

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方につきましては、配信先のご変更をお願いいたします。なお、様々な部署で楽しんで頂けるよう努めて参りますので、配信継続も歓迎しております。

【配信先の変更申請】 [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

【本メールマガジンについてのお問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課(総合交通体系グループ) 担当:島川

TEL: 03-5253-8111(内線 53-113)

E-mail: [hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01(at)mlit.go.jp) (※(at)→@)

総合交通体系 Web サイト: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>